

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が41.9%、「少し感じている」が26.5%と、愛着や誇りを感じている人が68.4%となっている。一方、「あまり感じていない」が4.2%、「感じていない」が2.3%で、愛着や誇りを感じていない人は6.5%と1割に満たない。

令和元年度-6年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は令和2年度が74.7%と最も割合が高く、それ以降が減少しており、令和6年度は前年度と比較すると横ばいとなっている。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、50歳代以上が高くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男性は40歳代と60歳代以上が高く、女性では50～60歳代が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べて高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,638)

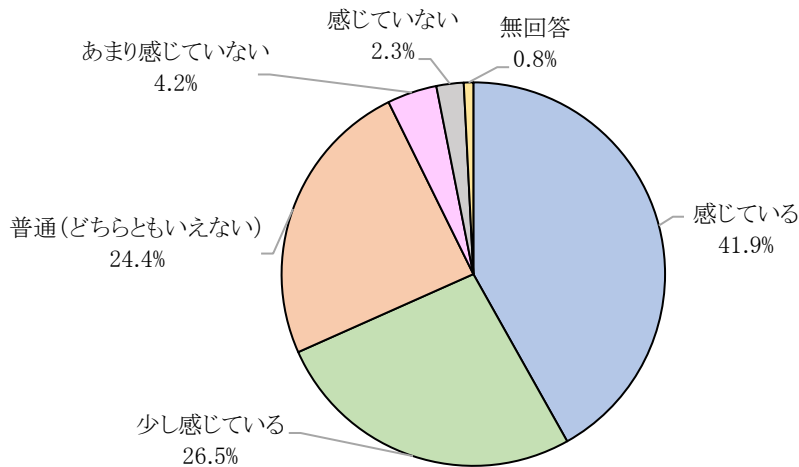


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて

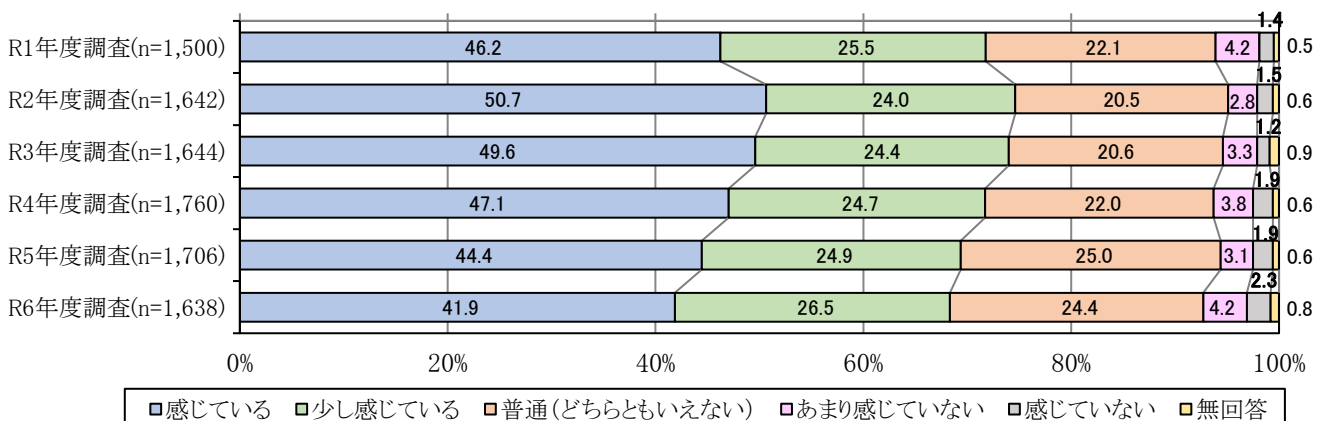
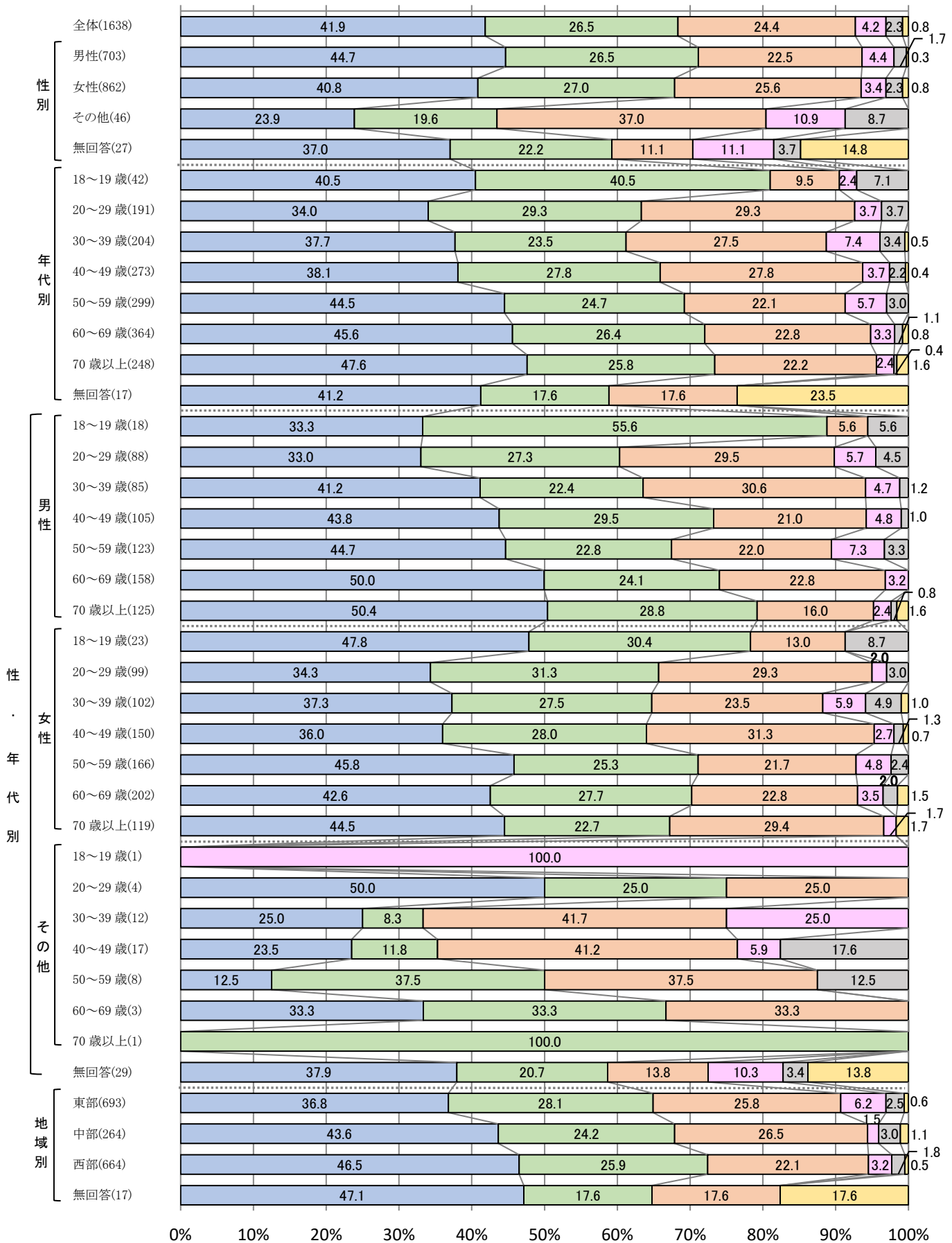


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて



感じている
 少し感じている
 どちらともいえない
 あまり感じていない
 感じていない
 無回答

問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が19.8%、「どちらかという住みやすい」が41.7%で、住みやすいと答えている人が合わせて61.5%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が7.8%、「住みにくい」が2.7%で、住みにくいと答えている人は合わせて10.5%となっている。

令和元年度-6年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、令和2年度の70.7%が最も割合が高く、それ以降は減少傾向となっているが、令和6年度は前年度と比べると横ばいとなっている。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、50歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は30歳代、60歳代以上で高く、女性は50～60歳代が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,638)

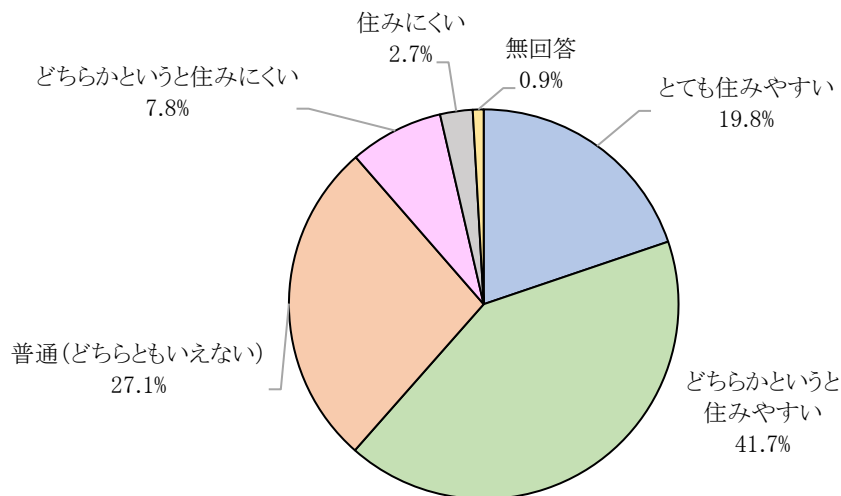


図5 今暮らしている地域の住みやすさ

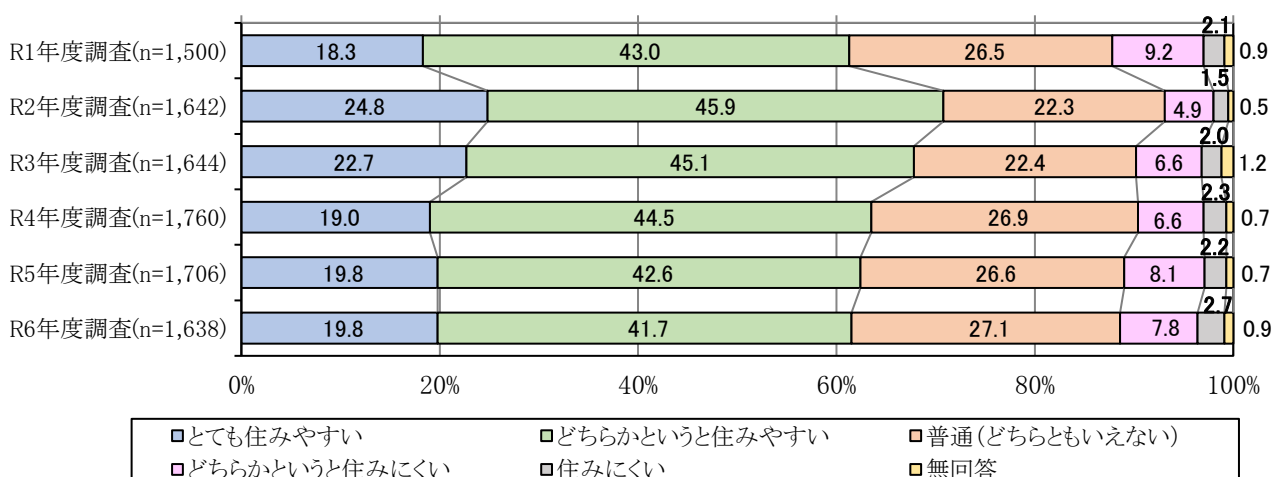
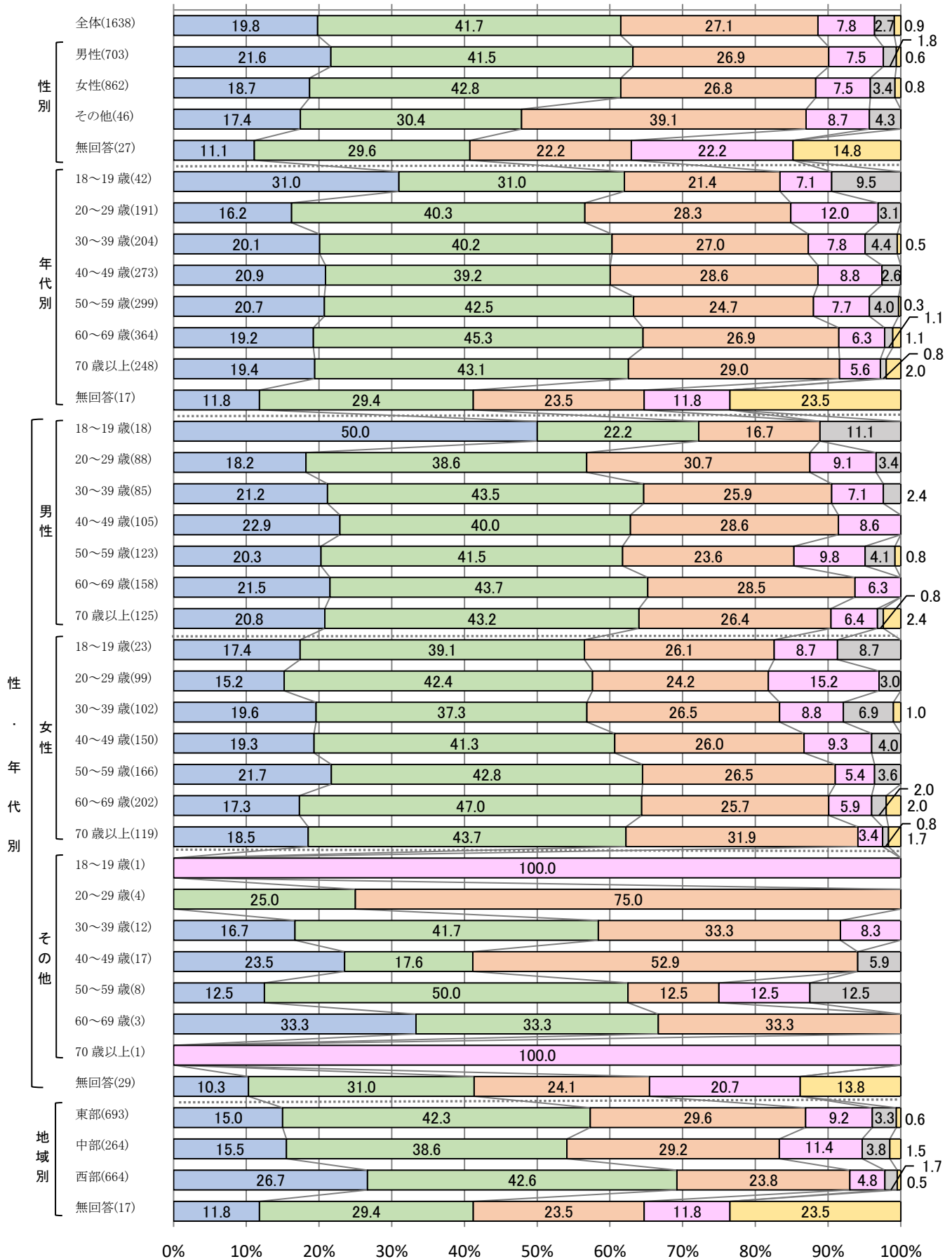


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代・地域別)



とても住みやすい どちらかという住みやすい どちらともいえない
 どちらかという住みにくい 住みにくい 無回答

**問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。**

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が89.1%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が66.4%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が53.6%、「地域での人と人とのつながりがある」が49.0%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が61.2%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が17.9%、「子どもの教育環境が充実している」が16.8%となっている。

令和元年度-6年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は全ての年度で5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。また「地域の治安が良いと感じている」「ストレスなく日常生活を送ることができている」は、令和5、6年度は割合が微増している。

図7 鳥取県の暮らしについて(n=1,638)

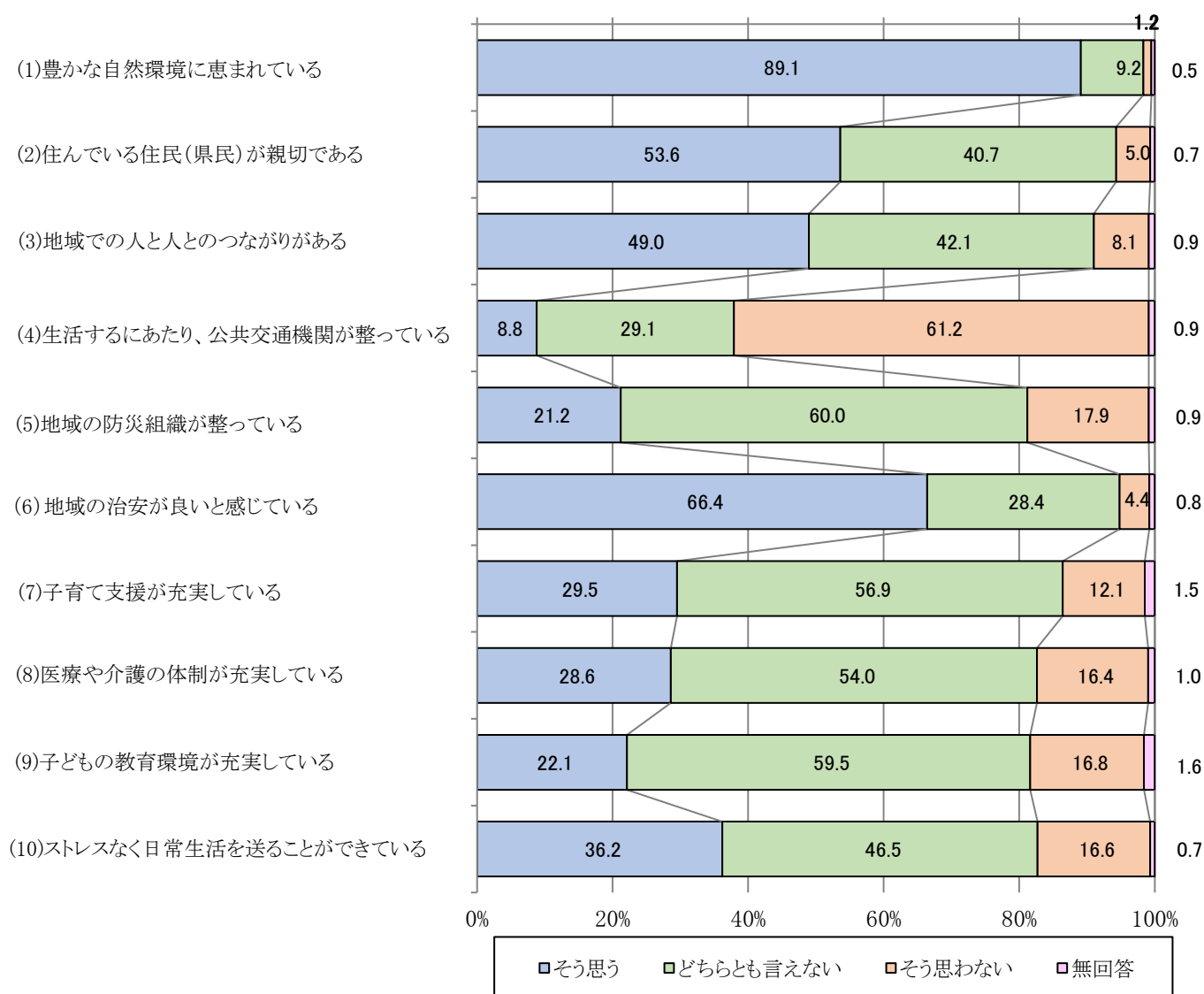
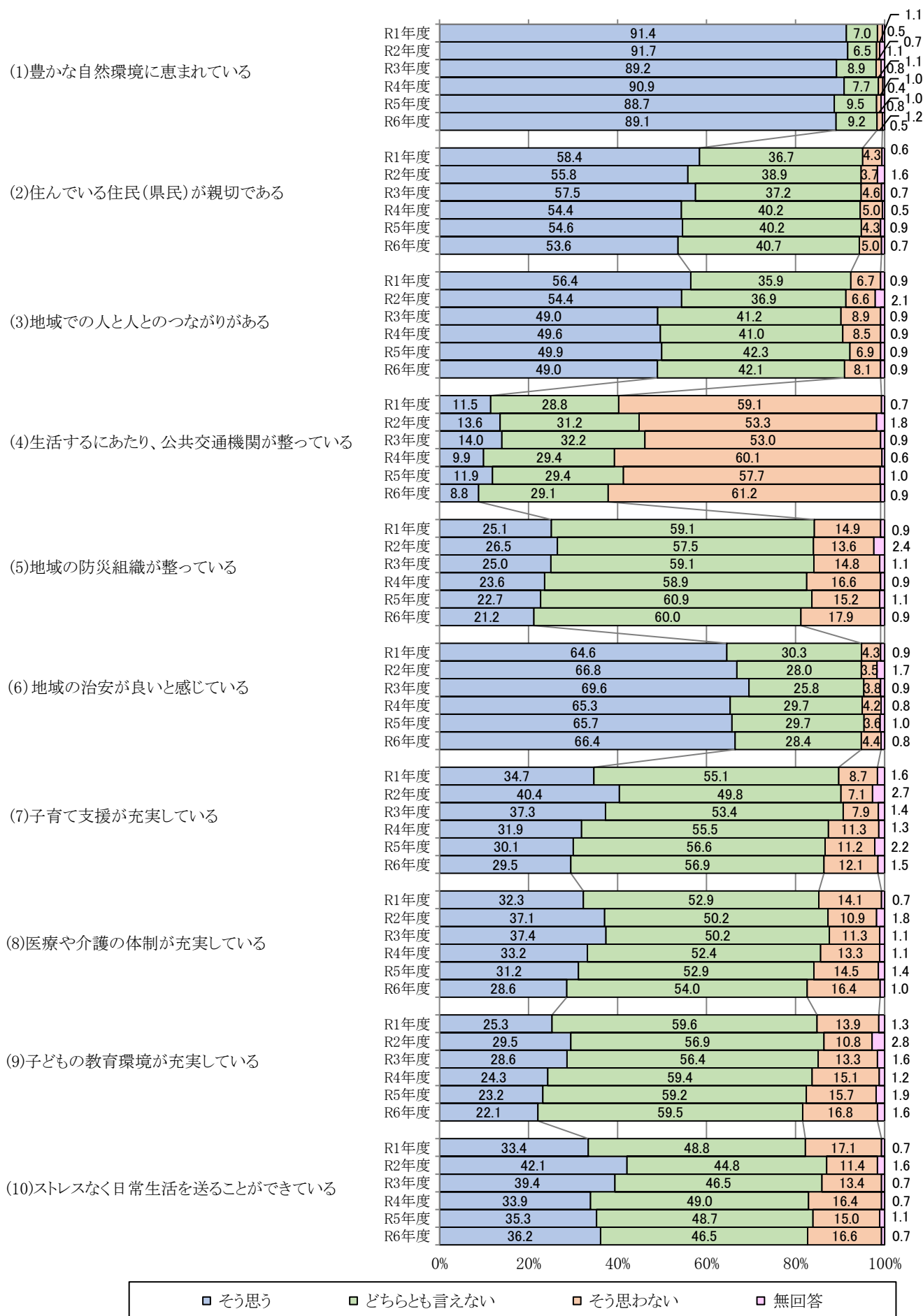


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が29.7%と最も割合が高く、8点が20.2%、7点が18.4%、6点が12.1%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は90.4%となっている。

性・年代別でみると、幸福度5点以上は男性の20歳代と60歳代、女性の50歳代以上で高く、一方男性の30歳代は他の年代と比べて低くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか(年次比較)

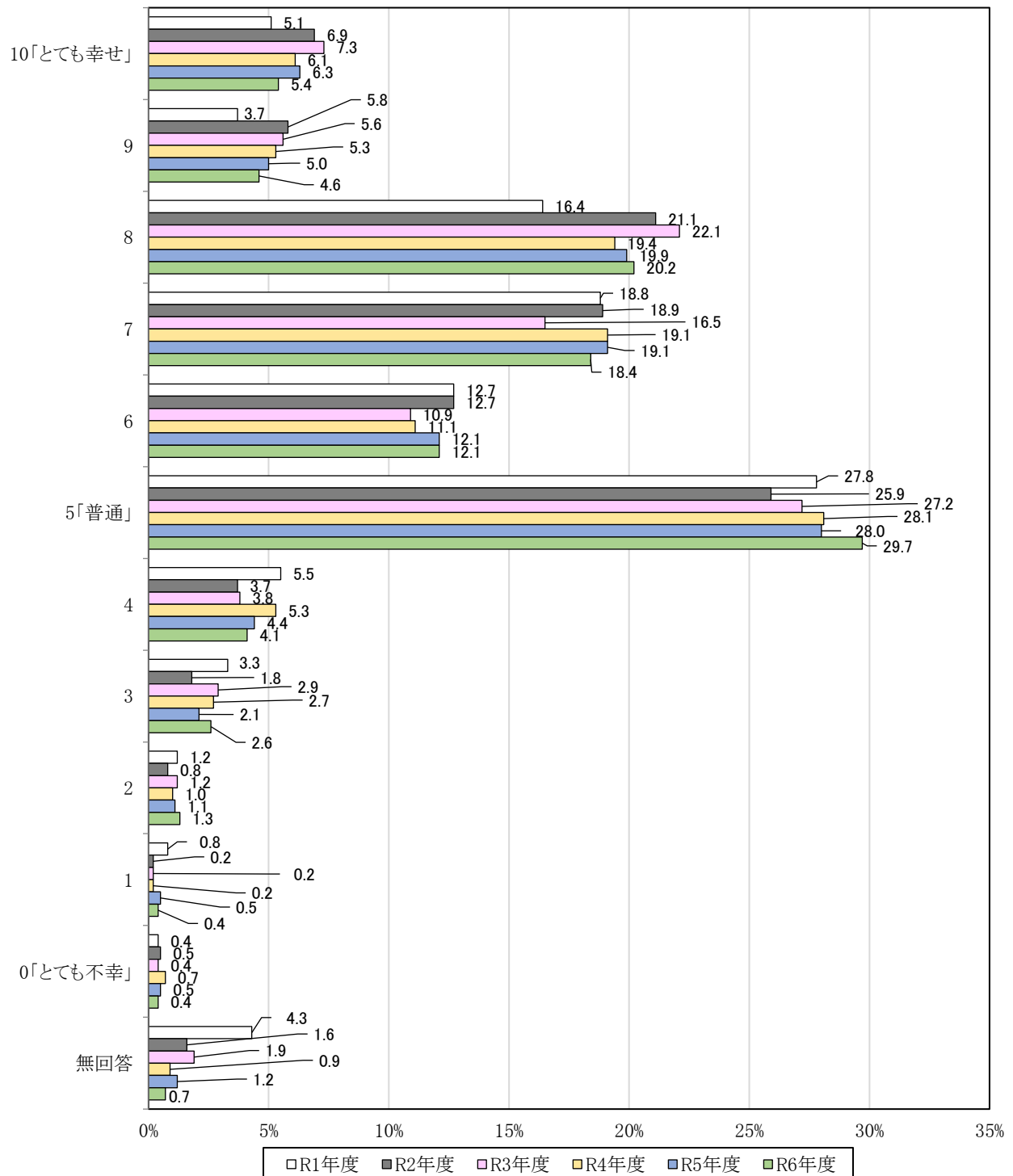
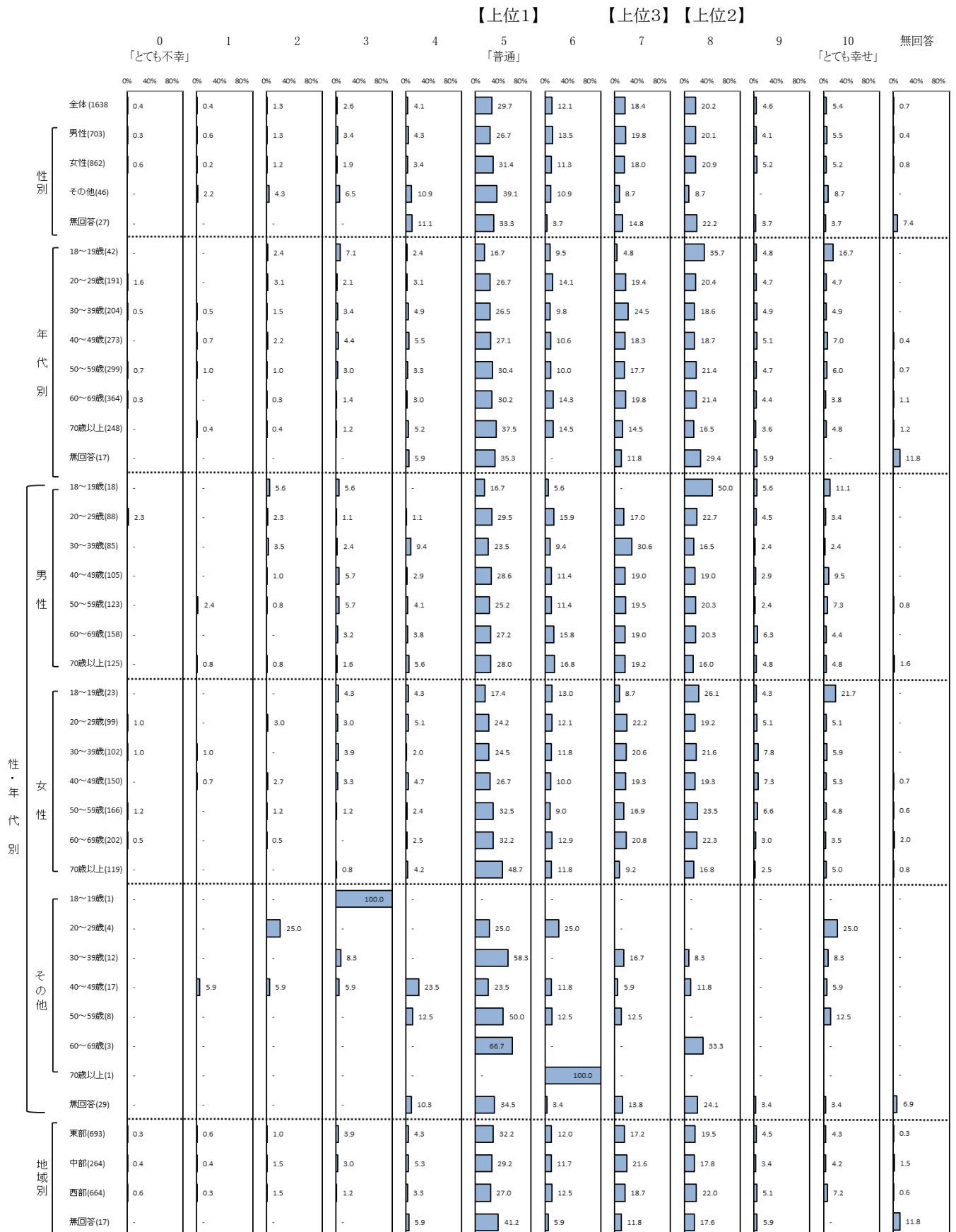


図 10 鳥取県に暮らして、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「家計の状況」「自身の健康の状況」「家族関係」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「家計の状況」が67.9%と最も割合が高く、次いで「自身の健康の状況」が67.0%、「家族関係」が56.8%、「精神的なゆとり」が56.3%となっている。

令和元年度-6年度を比較してみると、上位3項目は常に「家計の状況」、「自身の健康の状況」、「家族関係」となっている。

年代別でみると、「家計の状況」は40～50歳代、「自身の健康の状況」は60歳代以上、「自由な時間(充実した余暇)」「趣味などのいきがい」「友人関係」は30歳代以下が高くなっている。

性・年代別でみると、「家計の状況」「家族関係」は女性の30～40歳代、「精神的なゆとり」は女性の30歳代が高くなっている。

問11 「幸福度」の判断で重視することは(年次比較)

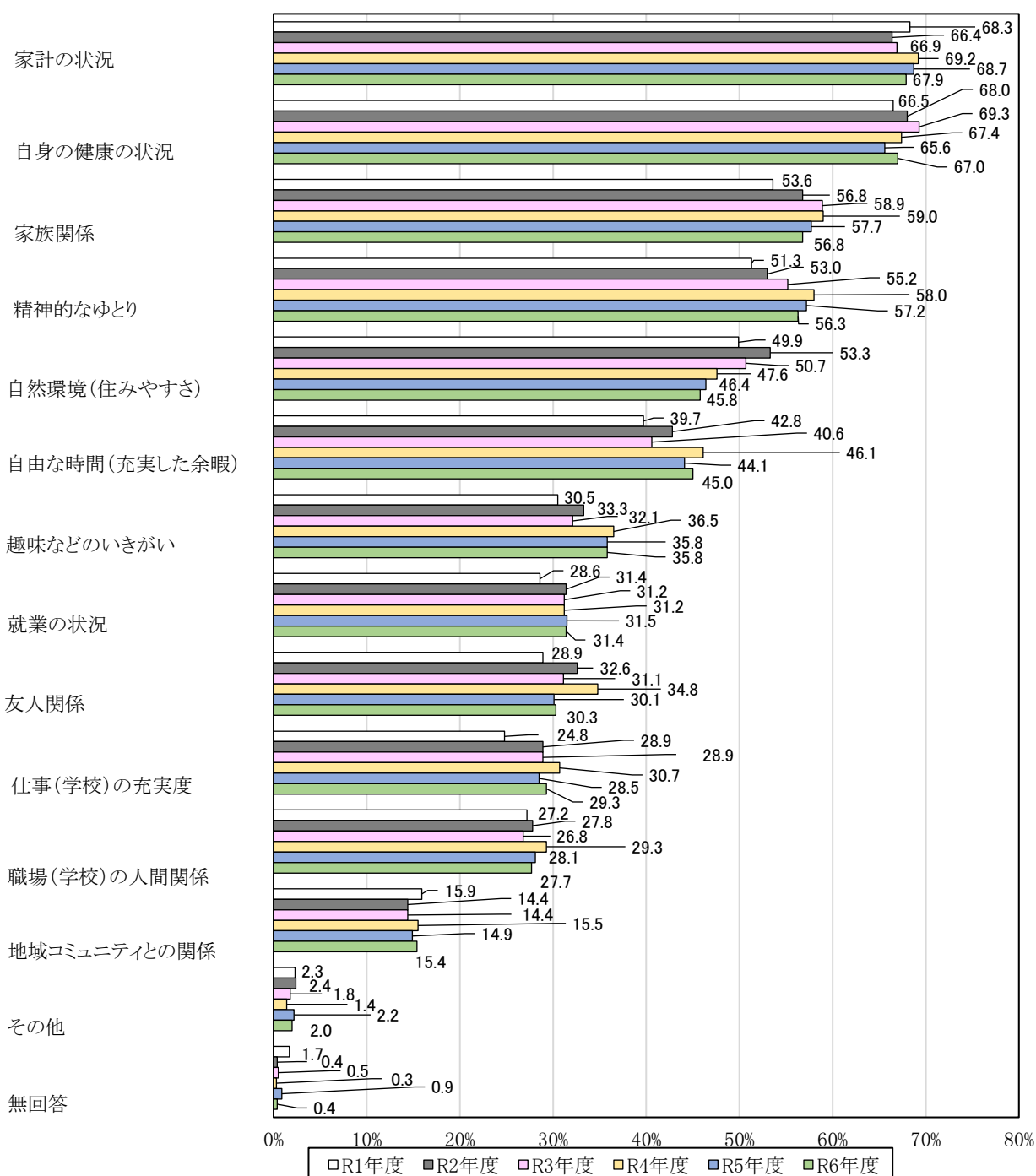


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

